

V. 特記事項

1. 学生居酒屋を起業、経営を通じた地域発展の取り組み

- ・本学教員の指導の下、令和 2(2020)年 8 月、本学学生が新潟市中央区の繁華街に学生居酒屋をオープンした。新潟市中央区の繁華街は郊外と比較すると店舗も減り人通りは年々減少傾向にあるという構造的課題を抱えており、地域活性化が特に注目されている。本学学生は指導教員の下で農業・地域経営を学び、農家との交流や地域おこしに関わってきた中で地場産農産物を PR したいという思いから創業を決意、新型コロナウイルス感染症による飲食店の感染対策の課題も解決しながら新規開店にこぎつけた。
- ・飲食店の開業には、事業計画の策定から資金調達、各種許認可手続、営業エリア選定、不動産物件調査、人事・労務管理、宣伝広告等、広範囲に渡る知識と経験が身に付く一方、学業との両立の苦労は容易に想像できる。それを乗り越え実現できていることに対して、教員の指導と共に学生の取り組み姿勢は称賛に値すると考える。本学では、このような現場から得られる知見も授業に取り入れた取り組みを継続していく。

2. SDGs の取り組み、フェアトレードへの取り組み

- ・持続可能な開発目標 SDGs(Sustainable Development Goals)の取り組みを推進することを目的として、本学では学生団体を中心に SDGs 普及活動を行っている。
- ・学内では、外部有識者をゲストに迎え講演会を開催している。SDGs への理解促進を目的として、QR コードが入った SDGs ステッカーを学内各所へ貼付け告知している。また、定期的に SDGs の認知度調査を実施している。
- ・他に、いわゆる開発途上国の農家や手工業者など立場の弱い小規模生産者の自立と生活改善のため、公正な価格で取引を行う取り組みである「フェアトレード」について、こちらも学生団体を中心に理解促進に向けて取り組んでいる。また、大学全体として取り組むことにより外部団体から認証を受ける「フェアトレード大学」の枠組みがあるが、この取り組みについても、学生団体を中心に議論が重ねられている。

3. 岩室温泉街の活性化への取り組み

- ・本学立地地域近くの新潟市西蒲区に、新潟県有数の温泉地である岩室温泉街がある。温泉街の課題として、観光客減による地域経済の停滞が挙げられる。この状況を打破するべく、温泉街の旅館組合、観光協会、自治会が中心となって発足した組織である「新潟にしかん地域循環共生圏協議会」と日産自動車为主体となり、環境配慮型の観光及び大学教育との融合による地域活性化と地域循環共生圏の実現を目指す趣旨で計画が進められている。本学はその趣旨に賛同し、令和 2(2020)年度から参加した。
- ・日産自動車は環境配慮型の車を提供し電気自動車の環境性能や走行データの活用を行う。岩室温泉街は電気自動車に必要な充電設備と場所を提供し、訪れた観光客に車の利用を促し地域観光の移動手段を提供する。本学は、観光客が比較的少ない平日を中心に車を利用することにより、地域活性化のための域内共同学習や観光研究開発を行っている。
- ・以上の取り組みにより、教育と地域が連携する地域 SDGs ともいえるべき取り組みを実現している。